

【評議員会議事録】

日 時：2008年3月26日（水）12時～13時

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟1階会議室

出席者：海部，郷田，柴田，須藤，中川，永田，宮川，渡部，家，坂田，佐藤，杉山，谷口，筒井，観山，望月，山田（17名）

有効表決状提出者 井上，岡村，池内（3名）

ほかに理事会より土佐理事長，國枝，柴橋両副理事長，花岡，高田，北本，田村，中本の各理事，および東條事務長が出席した。

議事に先立ち，議長に須藤氏，署名人に望月，永田両氏を選出した。

報 告

1. 前回議事録の確認

高田庶務理事より資料1に基づいて前回の議事録の紹介され，確認が行われた。

2. 本年会について

中本理事より開催中の年会について口頭で説明が行われた。年会の運営はおおむね順調で，26日正午現在で登録者数は858名に達したこと，3月23日（日）に行われた記者会見では8社が来場し，現在までのところ，インターネットを中心に多くの報道が行われた旨，報告された。

3. 百周年記念講演会・祝賀会について

柴橋副理事長より口頭で3月23日（日）に行われた百周年記念講演会および祝賀会について説明が行われた。講演会については参加者が約300名，祝賀会は160名の参加があったこと，文部科学大臣，日本学術振興会，日本学術会議理事長の祝辞，国外の3機関（イギリス，ヨーロッパ，韓国の天文学会）からの招待客の祝辞のほか，国外6機関からメッセージが寄せられ，大変盛況であった旨報告された。

また，記念講演会についてはパンフレットの配布を行い，英語版も用意したこと，パンフレットの残部200部程度については全国の博物館等に送付予定であることが紹介された。また英語版については1,000部ほど作って世界の関係各所に配布を検討中であることが示された。

パンフレットをダウンロード可能にすることが必要であることが意見として出された。

4. 世界天文年について

國枝副理事長より口頭で世界天文年における巡回展の計画の進捗状況について説明が行われた。天文の歴史や将来計画などの5部の構成の内容であること，今年前半に中身を詰めて動き始める必要があること，次回の評議員会および理事会で最終確定した計画の内容を報告予定であることが示された。

また，海部氏より日本全体での活動について補足説明があり，企画委員会の活動や日本委員会の今後の予定，国立天文台が募金の母体となる方向で話が進んでいることなどが示された。現在，宣伝用のリーフレットを作成中とのこと。また，2008年天文学会秋の年会において世界天文年に関する特別セッションの開催を希望する点が強調された。天文学会として何らかのシンポジウムの企画はできないかとの意見も出され，今後検討していくこととなった。

5. その他

(1) 百周年記念出版の現状について

百周年記念出版の現状について高田庶務理事より口頭で報告が行われた。現在，2008年5月の10巻目の出版に向けて準備が進んでいること，年内にすべてを出版することは絶対条件であることが確認された。遅れが顕著な巻も見受けられるとの憂慮から，原稿の収集や編集等で，現状の人員体制に対しててこ入れの必要があるのかどうか，編集委員長の岡村氏に対して相談する必要があるとの認識が示された。

(2) 若手研究者の旅費の使用実績に関する調査について

前回の評議員会で若手と実務理事の宿題となった「若手の旅費使用状況の調査」に関して質問があり，若手の会での議論はどうなっているのかについて，具体的なアクションは夏の学校で様々な議論を

行う予定であること、アンケート調査を準備中であることが若手代表の評議員メンバーから示された。これに関連して、天文財団への若手からの申請が減少しており、資金の役割は終わったのではとの意見もあるとの指摘がなされたほか、宇宙科学財団、天文財団、天文学会の役割の分担があっても良いのではないかと意見も出された。

意見として多かったのはいろいろな条件下での旅費等に対する資金の必要性について知りたいとのことで、これに留意したアンケート、議論を進める必要があるとの認識で一致した。

(3) 学術会議の活動について

海部氏より口頭で学術会議の活動状況について説明が行われた。

長期計画については現在部門を超えた計画のあり方について議論を行い、政策提言的なものをまとめようと試みているものの、分野間でなかなか足並みがそろわないのが現状であること、連携会員のうち11名が改選となるので、活動の継続性を保てるように留意する必要があること等が紹介された。

関連して家氏より学術振興会の中での人文社会関連メンバーとのfundingのあり方などについての議論が紹介された。また、佐藤、杉山両氏より5月31日、6月1日に予定されている長期計画に関するシンポジウムについて口頭で説明があり、講演を公募中で現状で既に6～7件の応募がある点、天文学会関係者への周知徹底の必要性が示された。

議 題

1. 従来通りの会員名簿の発行について

高田庶務理事より、口頭で今年度に予定されている会員名簿の発行についての手続きについて説明が行われた。個人情報の扱いには細心の注意を払うべきであり、会員全員に対してはがきによる開示情報の確認を行った方が良いのではないかと意見が出され、学会としては積極的に行うべきであるとの意見で一致した。具体的には、所属機関と自宅の住所・電話番号等についてどの開示を希望するか選択してもらうようにし、本人が意識しないまま自宅等の個人情報が掲載されることがないように配慮が必要であろうとの認識が示された。

2. その他

(1) 科研費の審査員のデータベース更新について

家氏より科研費の審査員のデータベースについて、今年度は3割程度の追加を行ったことが報告された。

次回開催は7月5日（土）で場所は東京大学を予定。

2008年4月21日

議 長 須藤 靖

署名人 望月優子

署名人 永田 健